

第 201 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 5 年 3 月 7 日（火）13:30～14:30

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

・会議の概要

＜報告事項＞

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

＜議題事項＞

- ◇ 沖縄県警戒レベルの移行について議論した結果、警戒レベルを 2 から 1 に変更した。
- ◇ 沖縄県対処方針の変更について議論した結果、対処方針を一部変更することとした。

1 参加者

池田 副知事、島袋 政策調整監、嘉数 知事公室長、
宮城 総務部長、儀間 企画部長、多良間 環境企画統括監、宮平 子ども生活福祉部長、
系数 保健医療部長、崎原 農林水産部長、松永 商工労働部長、
宮城 文化観光スポーツ部長、島袋 土木建築部長、名渡山 会計管理者、
半嶺 教育長、我那覇 病院事業局長、長濱 企業企画統括監、
平良 警備第二課次席 宮里 感染対策統括監、
テレビ会議システム利用：木村 宮古保健所長、田沢 健康推進班長

欠席 玉城 知事、照屋 副知事

2 報告事項

（１）沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について【資料 1～6】

➤ 総括情報部から警戒レベル判断指標等の状況について報告があった。

- ✓ 病床使用率は 2 週間前に 11.4%、1 週間前に 5.6%、現在一桁台が続いている。
重症者用病床使用率についても、一桁台から 0 で推移している。
- ✓ 前週比は 2 週間前 0.58、1 週間前 0.68 となっていたが、ここ数日は 0.9 台が続いている。
- ✓ 人口 10 万人あたりの新規陽性者数は 30 人台で推移している。
- ✓ 新規陽性者数は、2/22 の 110 名以降は二桁台が続いていたが、本日 115 名とな

っている。

- ✓ 入院中の患者はここ 2 週間二桁台が続いており、直近では 23 名となっている。
- ✓ 全国の「直近一週間の人口 10 万人当たり新規陽性者数」では、鳥取、島根、徳島など中国・四国地方で陽性者が多い。沖縄県は全国 47 位となっている。
- ✓ 沖縄県の年代別新規陽性者数の推移では、1/11 をピークに全年齢層で減少し続けていたが、3 月に入りやや増加傾向。前週比では、10 代～40 代、70 代、90 代で前週比 1 を上回っている。
- ✓ 非コロナ病床利用状況のうち、一般病床では 3/6 時点、沖縄県全体で 91.9%、本島圏域のみでは 91.8%と、90%台前半で推移している。
- ✓ 患者受入医療機関の就業制限について、昨年 7/30 の 1,277 名が最大となっており、直近では今年 1/12 の 463 名となっている。以降減少しており、直近 3/6 は 73 名となっている。
- ✓ ワクチン接種状況について、3/5 時点では、1 回目、2 回目は 70%台、3 回目は 51.5%で、4 回目が 29.6%、5 回目が 12.9%となっている。
- ✓ 県広域ワクチン接種センターについて、常設会場の NBC 沖縄会場は 2/4 まで、那覇クルーズターミナル会場は 2/26 までとなっている。理由として、本来業務（披露宴、国際クルーズ）再開等により終了。臨時会場（商業施設等）は、県全体のオミクロン株対応ワクチン接種者数減少に伴い、3/25 に一旦終了とする。
- ✓ 沖縄県の年代別接種率について、3 回目～5 回目のうち、オミクロン株対応ワクチンの接種率は、70～89 歳の間では 60%以上が接種済み、90 歳以上では 50%が接種済みで、その他の年代では 50%未満となっている。
- ✓ 出向き接種の状況、商業施設ではイーアス沖縄豊崎、うるマルシェ、沖縄コンベンションセンターでの接種会場を予定している。その他、沖縄国際大学、沖縄県庁での出向き接種を予定している。

(3) 県立病院の状況について

➤ 病院事業局より県立病院の状況について報告

- ✓ 3/6 時点の県立病院の入院患者は 6 名で前回報告より 34 名減、前々回報告より 79 名減。県立病院が現在確保しているコロナ病床のうち、13.6%が稼働している。
- ✓ 県立病院の入院患者は、北部病院 0 名、中部病院 4 名、南部医療センター 0 名、宮古病院 0 名、八重山病院 1 名、精和病院 1 名となっている。非コロナ病床稼働率は南部医療センターで 97.5%と高く、県立病院全体で見ても 91.3%と依然高い利用率になっている。
- ✓ 北部病院は全体的に落ち着いてきている。
- ✓ 中部病院より、沖縄県の医療提供体制を考える有志一同が提出した「ポストパンデミックにおける医療提供体制について」の提言を遵守してもらいたいと意見があった。
- ✓ 南部医療センターでは、3/4 以降患者 0 人が続いているが、脳卒中センターの工事開始に伴い病床が不足している。
- ✓ 宮古病院、徳洲会病院、宿泊療養施設を含め宮古圏域のコロナ入院は 0 となっている。
- ✓ 八重山病院では、発熱外来及び救急外来の患者の受診状況は通常通りで、病院に大きな負荷はなく落ち着いている。
- ✓ 県立病院でのコロナ関連による休業者数は、3/6 時点で 22 と過去 1 年間で最少の人数となっている。

(4) 宮古・八重山地域の感染状況について

➤ 宮古地方本部から宮古地域の感染状況等について報告。

- ✓ 今週の陽性者は0名で、5週連続で前週比は減少している。入院、宿泊療養施設療養者は0名。新規陽性者数もここ数日0名。
- ✓ 施設の発生状況についても0。インフルエンザがやや増加している。

➤ 八重山地方本部から八重山地域の感染状況等について報告。

- ✓ 八重山圏域では2月に入り急激に陽性者が減少している。2/20-2/25 の新規陽性者数は13人、2/27-3/5 では2名の陽性者。
- ✓ 年代階級別では2月上旬から4歳以下の陽性者、2月中旬から70歳以上の陽性者がほとんど見られない状況。
- ✓ 竹富町、与那国町での療養者は0となっており、1月以降移送実績もない。
- ✓ 宿泊療養施設について、2/23 から0名となっている。
- ✓ 今後の保健所体制については、健康推進班のみで対応できている。
- ✓ インフルエンザは2月後半から再び流行している。

(5) 空港PCR検査プロジェクト・TACO・RICCA等の状況【資料8】

➤ 文化観光スポーツ部より報告

- ✓ 空港PCR検査プロジェクトについて、2/27の週の受検者は727名で、前週比-237名。内訳として、県内在住者が664名、県外在住者が63名。陽性者は10名で、陽性率は1.4%。
- ✓ 那覇空港抗原検査について、検査件数は346名、うち県内在住者は208名、県外在住者は138名。陽性者は0。
- ✓ TACOについて、2/27の週の電話対応件数は16人で、うち健康相談・問診実施数は3人となっている。

(6) 質疑応答

- ✓ 5/8 以降の高齢者施設の検査について、9月までは現行の体制を継続といったコメントが国からあったが、新型コロナは5類となるので、移行期の体制作りをする必要がある。また、高齢者施設の検査は無料、その他通常の検査は有料となる中で、無料の検査に殺到することは十分考えるため、季節性インフルエンザなどと同様民間で検査できるような費用補助や体制作りを行ってもらいたい。

→3/10に国の方から5/8以降の方針について発表することとなっており、高齢者施設内で陽性者が発生した際の取扱いについても、方針が示されると考えている。これまでのように、スクリーニング検査を用いたいいわゆるゼロコロナ施策を継続するのか、症状がある方に限って検査を行う方法に切り替わるのか今のところはわからないが、国の方針がこれまでどおりゼロコロナ施策であれば、保健所の行政検査としての役割がでてくるかと思われる。今後保健所とも議論して決定していきたい。

3 議題

(1) 沖縄県警戒レベルの移行について

➤ 総括情報部より説明

- ✓ レベル判断に関する指標として、①病床利用率（国基準）は3/6現在で3.6%となっており、レベル1相当。②重症者用病床利用率（国基準）は3/6現在で0.0%とこちらもレベル1相当となっている。
- ✓ 事象として、保健医療の負荷の状況のうち、外来医療の状況は、県立病院において、1月をピークに発熱外来患者は減少し、低水準で推移している。
- ✓ 救急医療の状況として、県立病院の救急外来患者数について、昨年末から発熱患者などの受診者数は高水準で推移していたが、現在は12月上旬と同等の低水準で推移している。

- ✓ 入院医療の状況として、重点医療機関の医療従事者の欠勤者は 1/12 の 463 名をピークに減少し、3/6 時点で 73 名となっている。
- ✓ 社会福祉施設等療養状況として、施設内療養者は 1/15 の 410 名をピークに減少し、3/5 時点で 4 名となっている。
- ✓ その他（インフルエンザ流行状況）として、未だインフルエンザ警報解除基準値を超えるものの、第 5 週（1/30-2/5 定点あたり 47.18 人）をピークに減少している。（第 8 週 2/20-2/26 定点あたり 12.76 人）
- ✓ 感染症専門家会議委員意見として、入院医療や発熱・救急外来医療について、ひっ迫の状況はなく、保健医療への負荷は小さいことから、レベル 1 への移行は妥当であるとの意見であった。
- ✓ 社会経済活動の状況、職場等での欠勤者の状況として、県の所管する関係団体等において、職場の欠勤者は低水準で推移しており、業務継続に支障は生じていない。
- ✓ 感染状況、陽性者数の増加は、1/14 以降、前週比 1 を下回る状況が続いている。
（3/6 時点）
- ✓ 以上の指標および事象を総合的に勘案し、沖縄県の警戒レベルを「レベル 2（感染拡大初期）」から「レベル 1（感染小康期）」に移行したいと考えている。
- ✓ 全国の自治体のうち、21 の自治体がレベル 1 となっている。

（2）質疑応答

➤ 特になし

（3）沖縄県対処方針の変更について

➤ 総括情報部より説明

- ✓ 要請期間は令和 5 年 3 月 7 日（火）から、5 類移行前日となる令和 5 年 5 月 7

日（日）までとしている。

- ✓ 「適切なマスクの着脱」については、3/13 以降の取扱い変更があるため、別途記載している。
- ✓ レベル分類を 2 から 1 に変更したため、「会食や友人との交流の際は、できるだけ大人数、長時間の集まりを控えてください。」の記載を削除している。
- ✓ マスク着用の取扱いについて、国から示された方針に則り「3 月 13 日以降のマスク着用については基本的に個人の判断となりますが、着用が効果的な場面ではマスク着用を推奨します。」と記載している。
- ✓ 2 ページ目、「①ワクチン接種は」の項目について、現在流行が収まっていることもあり、「季節性インフルエンザが流行しています。インフルエンザワクチンの接種をお願いします。」の記載を削除している。
- ✓ 同じく、「②日頃から」の中で、場面に応じた適切なマスクの着脱についての記載を削除している。ただし、3 月 12 日までの期間はこれまで通りの取扱いになるため、屋内・屋外、他者との身体的距離や会話の有無などの場面に応じた適切なマスクの着脱のお願いを記載している。
- ✓ 「③会食や友人との交流の際は」については削除としている。その中で、子どもが集まる場面（学童、学習塾等）では、換気などの感染対策を大人がチェックすること、会食にあたっては「感染防止対策認証店」を利用し、感染防止対策が徹底されていない飲食店等の利用は控えること、の記載については「②日頃から」の項目へまとめている。
- ✓ 「③体調不良のときは」の項目で、レベル 1 に引き下がったため、「高齢者や妊婦、透析患者を含めかかりつけ医がいる方はかかりつけ医を利用し、症状が辛い方で受診を希望する方は、県発熱コールセンターに相談をしてください。」「軽症であれば医療用の抗原検査キットを活用し、市販薬で自宅療養してください。」の記載を削除している。また、体調不良時に、通院等やむを得ず

外出するときには、人込みは避けマスクの着用をお願いしますと記載している。

- ✓ 2 ページ目の最後に、マスク着用について（3 月 13 日以降適用）記載をしている。着用が効果的な場面について記載しており、重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等の従事者の勤務中、医療機関の受診時、重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等への訪問時、感染流行期に重症化リスクの高い方が混雑した（人との距離が確保できない）場所に行く時、通勤ラッシュ等混雑したバスやモノレールに乗車する時、施設の利用やイベント参加時に事業者から呼びかけられたときなどを記載している。
- ✓ 来訪者の皆様への呼びかけについて、旅行前にワクチン接種を最新の状況にすることを推奨することを一部変更し記載している。来県前の PCR 検査等の確認について、レベル 1 に変更となったため削除している。
- ✓ 4 ページ目、飲食店等の皆様への項目について、認証基準の遵守、業務別ガイドラインの遵守について記載している。認証店以外の店舗についての一部の記載をレベル 1 相当に下がったため削除している。
- ✓ 5 ページ目、イベントの開催について、県が求める要請を満たさない場合は、要請に沿って見直すか又は自粛すること、食事中以外のマスク着用等を徹底、アルコールを提供する場合は、指定された飲食エリア以外では飲酒しないよう求めるといった呼びかけについて、削除している。
- ✓ 3/13 以降のイベント開催について、マスクの着用については「着用は個人の判断に委ねること」を基本とする国の方針を踏まえ、イベント主催者等が出演者や参加者等に対して、必ずしも「マスクの着用」を働きかける必要はない、イベント主催者等が感染対策上又は事業上の理由等から、出演者や参加者等にマスクの着用を求めることができることを記載している。
- ✓ 6 ページ目、商業施設、集客施設の皆様への項目で、入場者へマスクの着用徹

底等の呼びかけについて削除している。

- ✓ 事業者の皆様への項目、小学校休業等対応助成金等の活用による従業員の有給休暇制度の創設等について、この助成金が3/31で終了となるため、削除している。
- ✓ 高齢者施設、障害者施設へのお願いについて、面接は利用者・家族にとって重要であることから、感染対策に留意し、感染リスクを下げながら、可能な限り、対面面会の実施を検討するようお願いしますと記載している。
- ✓ 高齢者施設等への訪問時、高齢者施設従事者の勤務中については、マスク着用を推奨しますと記載している。
- ✓ 7ページ目、各市町村への呼びかけとして、地元市町村で行われるイベントについて、県の基準を満たさないものは、対処方針の要請に沿って見直すか自粛を促すことについて、削除している。
- ✓ 学校へのお願いとして、マスクの着脱に関する記載を削除している。
- ✓ 部活動での対策について、部室や更衣室等での換気等具体的に記載している。
- ✓ 4月1日以降の学校教育活動の実施に当たっては、マスクの着用を求めないことを基本とする対応について、記載している。
- ✓ 8ページ目、厚生労働省が作成したマスク着用についての資料を掲載している。
- ✓ 9ページ目、コロナかな？と思ったらについて、シンプルなパターンの案内を掲載している。

(4) 質疑応答

- ✓ マスク着用について事業主から推奨した場合でも、個人の判断を優先し、強制はできないということでしょうか。
→個人の判断が優先され、できる限り協力をお願いする形となる。
- ✓ ワクチン接種の今後の予定について。5/7までは接種券が届くのか。

→ワクチン接種の3回目、4回目、5回目のうち、1回でも2価ワクチンを接種していれば、ワクチンは最新の状態となっているので完了。5/8以降は高齢者については、新しい接種券が届く予定。

- ✓ 認証制度について、都道府県によっては既に終了しているところや、終了を検討しているところもあるが、沖縄県でも検討しているのか。

→国の通知により、5/7までは制度が続くことになっているため、沖縄県では5/7まで継続する。

- ✓ 県主体の会議や説明会について、マスク着用を求めていくかなど、県庁全体で統一した対応の調整を総務部、保健医療部で連携し示してもらいたい。

➤ 議論の結果、総括情報部案のとおり決定とした。

閉 会